

# 折り紙やクッキー作り

## 石岡二高 2、3年生が特別授業

石岡市府中の県立石岡二高（辻武晴校長、生徒565人）で4日、生活デザイン科の2、3年生を対象にした「課題研究」に関わる特別授業があり、「保育」

を選択するグループが折り紙、「食物」を選択するグループが地元の酒粕を素材に取り入れたクッキー作りを取り組んだ。

「保育」のクラスは、外部講師として、日本折紙協会（東京）所属の栗原伸恵さんを迎え、11人の生徒が「虎」を折



「課題研究」の特別授業で、折り紙専門家の外部講師（右）から技術指導を受ける石岡二高生活デザイン科の生徒たち（石岡市府中）

ることを通し、難度の高い技術を学んだ。基礎力を身に付けている生徒たちは、専門家の手ほどきを受け、レベルの高い技のこつを学んでいた。

「食物」のクラスは、学校がある石岡市がかつて県内随一の酒造産地だったこ

とにちなみ、生徒10人が酒粕を使ったクッキー作りに挑戦。校内で試食してもらったことを想定し、生地作りからオープンで焼き上げる作業までを一人一人が行った。

保育の授業を受けた3年生、今成彩乃さん（18）は

「（折り方を）少しずつ調整していくところが難しかった」。食物の授業を受けた2年生、山口結莉さん（17）は「食品関係の仕事に就きたい」と将来の夢を見据えて丁寧に作業に当たっていた。保育の授業を担当する明賀靖子教諭は「専門

家に触れて、物を作る喜び、創造性を養うことが学べただろう」、食物の授業を受け持っている橋本麻未教諭は「酒粕という素材を通し、生徒が石岡という地域の魅力を感じることにつながれば」と話した。

（佐川友一）